平成28年　8月12日
山形河川国道事務所

記者発表資料

一般国道47号　新庄酒田道路　高屋道路
猪ノ鼻トンネル工事　可燃性ガスの対応について

現在施工中の「猪ノ鼻トンネル工事」において、高濃度の可燃性ガス（メタンガス）※1を確認しています。

８月１日に専門家※2を交えた検討会を実施し、現場で行っている安全対策の妥当性と、近接する国道47号への通行に影響が全く無いことを確認しました。

今後とも、専門家の指導を仰ぎながら、安全な施工に努めて参ります。
なお、現地の状況については、定期的に情報発信して参ります。

※1　高濃度の可燃性ガス　：　メタンガスの爆発下限界値となる大気中の濃度が5%以上を示す
※2　専門家　：　NPO 地下資源イノベーションネットワーク所属（元北海道大学助教）大賀光太郎　氏

■「現地の安全対策」

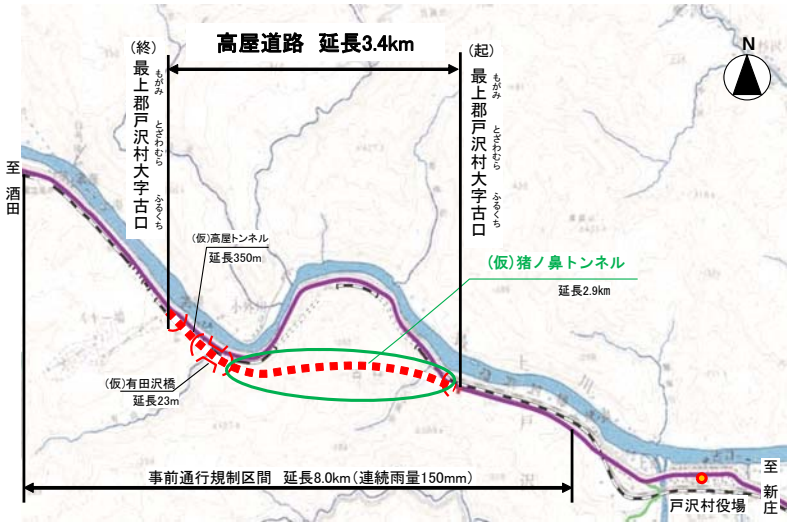
①換気設備の増強、24時間連続換気、坑内ガス濃度の継続監視

②調査ボーリング（トンネル掘削による可燃性ガス発生を、事前に把握するため）

■８月１日　検討会結果

・現在の安全対策により、坑内の安全性が確保され、施工への影響が無い

・坑口に近接する国道４７号の通行にも影響が全く無い



＜発表記者会：山形県政記者クラブ、新庄新聞放送記者会、山形建設業界専門紙＞

問　合　せ　先

国土交通省　東北地方整備局　山形河川国道事務所　電話番号　023-688-8421（代表）
副所長（道路）　千葉富彦（ちばとみひこ）　（内線205）
工務第二課長　高橋朋昭（たかはしともあき）　（内線411）

別 紙

現場で行っている「安全対策」 継続実施

①ガスの把握・調査

トンネル全線における可燃性ガス発生個所の確認を行っています。

▽調査ボーリング（約100m毎に実施）

工法例



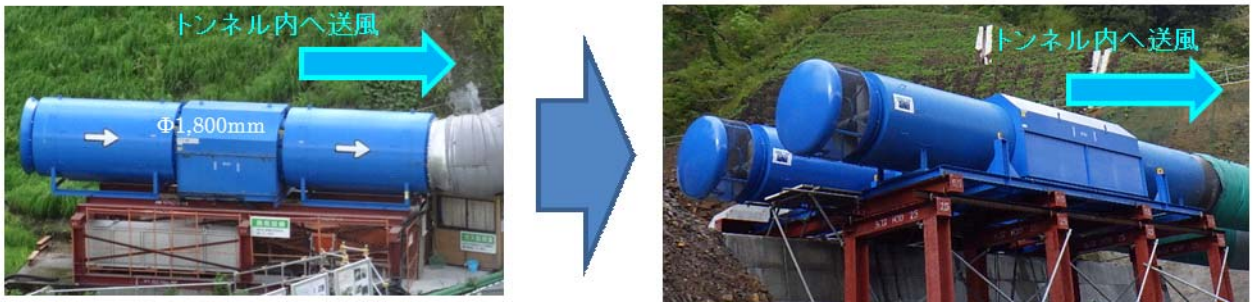


調査ボーリング施工状況

②換気設備の増強

可燃性ガスを希釈するためトンネル内の風速確保、換気設備の増強を行っています。

▽送風機の増設（ １基→ ２基 ）



③24時間連続換気（停電時のバックアップ用非常用発電）

④可燃性ガスの計測と記録（トンネル坑内自動計測システムの構築）

⑤作業員への安全対策（管理体制の設定と警報システムの構築）



▲検討会の様子



▲調査ボーリングの確認